

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 1月 17日

公表:令和 4年 2月 16日

事業所名 ぬくもり小幡

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2 職員の配置数は適切である	○				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・段差をなくすためにクッションを斜めにカット		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・すべてサポートにて毎年更新 ・事業所内やホームページに掲載		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の実施については法人内での検討を要す。	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・昨年改善項目にしていたリモート研修に参加できた		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者様との日頃のやり取りや、面談の中から課題抽出、支援会議にてスタッフと確認しながら作成している。		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・お出掛け行事の事前確認など改善された		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・半年サイクルで同じ曜日に活動が重ならないように配慮		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・放課後にやれること、一日利用だからできる事、その活動内容や時間配分などに配慮している。		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・集団活動で活動する時間以外に個人の自由な時間を確保する事は意識している。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・時間を決めて打ち合わせを行っている ・LINEや日報の申し送り欄の活用が増えてきた	・学校休業日においても、前日や朝送迎後に行っているものの、平日のような細かな打ち合わせにはなっておらず、今後どのように行わべきか検討を要す。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	・LINEや日報の申し送り欄の活用が増えてきた ・支援終了後は困難なため翌日に行っている。	・新たに共有ノートの活用も提案されたが、日報の内容との重複もあり負担増が懸念される。まずは今行っている日報を最大限活用していく。内容によってはその日のうちにLINEで共有しているので、継続していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日報の申し送り欄の活用	・実施記録については定期的な内容確認とその都度記載方法について指導しているので、今後も継続していく。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリング管理表の作成と活用			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○					

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	・必要に応じて行っており、すべての児童に行っているわけではない。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・ケース会議や就労先の作業所への訪問をしている。面談やモニタリングの際に、こちらから協力する旨を伝えている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・地域の公園遊びなどで一緒に遊んだりと触れ合う機会はある。	・どのような方法で交流していくか検討していく中で、コロナ禍ということもあり、積極的に改善に取り組めてはいない。今後についてもどのようにするかは未定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・帰りの送迎時に児童の様子を伝え、情報共有を行っている	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・コロナの影響で遅れているもののペアレント・トレーニングの研修体制が作れるようにすすめている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時以外にも、見学、面談、日頃から努めている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・直接の問い合わせ以外にも、連絡帳の内容などから、必要と感じた時にはこちらから声掛けを心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・例年クリスマス会は保護者の方にも来ていただいていたが、コロナの影響もあり今年は児童のみで行っています。動画配信や提供などが実現できるよう進めていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・体制については重要事項説明書にも明記し、説明も行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・通信や予定表は毎月10日に発行。休業期間中の連絡先など配慮が必要な時期にもその都度発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・あいうえお表や絵カードなどの作成と掲示など行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・記録様式を準備。必要に応じて事例検討を行い、支援計画書への記載と説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・医師の指示書はないが、保護者と連携している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		